
平成28年度第3四半期 決算説明会資料

平成29年2月3日

日新製鋼株式会社

新日鐵住金(株)による公開買付け に関する当社意見表明について



新日鐵住金株式会社による当社株式に対する公開買付け開始について

公開買付けの概要

公開買付者	新日鐵住金株式会社
対象株式	当社普通株式
買付け価格	1株につき1,620円
買付け予定数	上限 : 46,896,300株 ※1 ※2 下限 : なし
公開買付け期間	自 : 2017年2月3日 至 : 2017年3月6日
公開買付け代理人	野村證券株式会社
決済開始日	2017年3月13日
その他	本公開買付け実施後も、当社は東京証券取引所市場第一部上場を維持

※1 2017年2月2日時点で公開買付者が所有している当社株式数と合わせて、公開買付者による当社の株式所有割合が51.00%となる株数。

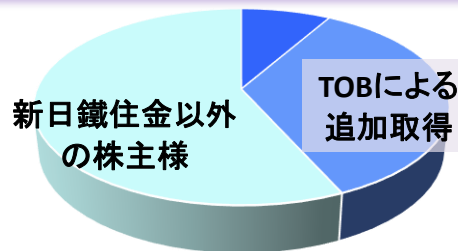
※2 応募株券等の総数が上限を超える場合、公開買付け者はその超える部分の全部又は一部の買付けを行わず、金融商品取引法及び発行者以外の者による株券等の公開買付けの開示に関する内閣府令に規定するあん分比例の方式により、株券等の買付け等に係る受渡しその他の決済を行う。

新日鐵住金株式会社による当社株式に対する公開買付け開始について

第三者割当増資

- ・公開買付け及び第三者割当増資の組合せにより、新日鐵住金による当社の発行済株式総数（自己株式を含む）の51.00%に至る当社株式の取得を目指す。
- ・ただし、公開買付けのみで新日鐵住金が当社の発行済株式総数の51.00%を所有することになる場合には、**本第三者割当増資の払込みを行わない**。

公開買付けの結果、新日鐵住金の株式所有割合が**51.0%未満の場合**



第三者割当増資の組み合わせにより新日鐵住金が51.0%を所有



◇ 第三者割当増資の概要

引受人	新日鐵住金株式会社	募集株式数	95,706,600株
払込み日	公開買付け決済開始日と同日（2017年3月13日）	払込み金額	1,620円/株
具体的な資金用途	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の更新投資 500億円（支出予定：2017年4月～2019年3月） ・有利子負債の返済 543億円（支出予定：2017年4月～2019年3月） ・事業構造改革に係る設備投資 500億円（支出予定：2019年4月～2021年3月） 		

- ・2016年5月13日開催の当社取締役会において、新日鐵住金を引受人とする本第三者割当を決議
- ・2016年6月24日開催の当社第4回定時株主総会において、本募集株式引受契約の承認に係る議案が承認可決

本公開買付けに対する当社の意見表明について

意見の内容、根拠、理由等

1. 意見の内容

◇ 2017年2月2日開催の取締役会において、改めて以下の通り決議(※)

本公開買付けについて	賛同
本公開買付けへの応募について	中立(株主の皆様のご判断に委ねる)

※ 当社取締役である柳川欣也氏は公開買付者かつ本第三者割当増資の引受予定先である新日鐵住金株式会社に役員として在籍していたことがあるため、利益相反の疑いを回避する観点から、同取締役会の審議及び決議に一切参加していない。

2. 意見の根拠、理由等

◇ 以下の根拠、理由等により、当社は本公開買付けに賛同の意見を表明

本公開買付けの目的等が右の通りであること	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼片供給を前提とした事業構造改革の実施による当社の企業価値向上 ・両社相乗効果の創出、連携施策推進等の実現を通じてお客様に貢献するとともに、豊かな社会の創造・発展に寄与 等
本買付け価格の公正性が担保されていること	独立した第三者機関である三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社より株式価値算定書を取得

◇ 当社は本公開買付け実施後も当社株式の上場を維持していく方針であるため、株主の皆様が本公開買付けに応募するか否かについては中立の立場

平成28年度 第3四半期決算の概要



平成28年度第3四半期決算

概況

- ✓ 企業収益や雇用・所得環境の改善に加え、企業の生産活動に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復傾向。
- ✓ 国内鋼材需要は自動車や住宅などの分野が堅調であり、鋼材在庫も適正水準で推移。
- ✓ 一方、海外では中国の過剰生産能力解消に向けた取り組みが進められてはいるものの、粗鋼生産や鋼材輸出は依然として高水準であり、不透明感が残る状況。
- ✓ このような環境のもと、当社グループは24号中計の最終年度として、各施策の総仕上げを積極的に推進。
- ✓ 前年度から原料市況が下落し為替が円高に動いてきた中、下期以降は原料炭価格が急激に上昇したことに加え、生産設備の安定稼働最優先の操業等に伴うコスト影響もあり、経常利益は23億円（前年同期比▲22億円）となった。

平成28年度第3四半期決算

	No	H28年度					H27年度	差異		
		上期		(実績)	下期	(実績)	4-12月 (実績) f	① e-f	② d-b	
		4-6月 (実績) a	7-9月 (実績) b		10-12月 (実績) d					
売上高	1	1,194	1,323	2,517	1,300	3,817	4,099	▲ 282	▲ 23	
営業利益	2	2	40	42	15	57	69	▲ 12	▲ 25	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	12	33	45	33	78	125	▲ 47	0
	ステンレス	4	▲ 25	▲ 10	▲ 35	▲ 20	▲ 55	▲ 80	25	▲ 10
	計	5	▲ 13	23	10	13	23	45	▲ 22	▲ 10
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	▲ 15	15	0	2	2	0	2	▲ 13	

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	▲ 15	▲ 10	▲ 25	20	▲ 5	▲ 40	35	30
	ステンレス	8	▲ 15	▲ 20	▲ 35	5	▲ 30	▲ 60	30	25
	計	9	▲ 30	▲ 30	▲ 60	25	▲ 35	▲ 100	65	55

<実カベース>

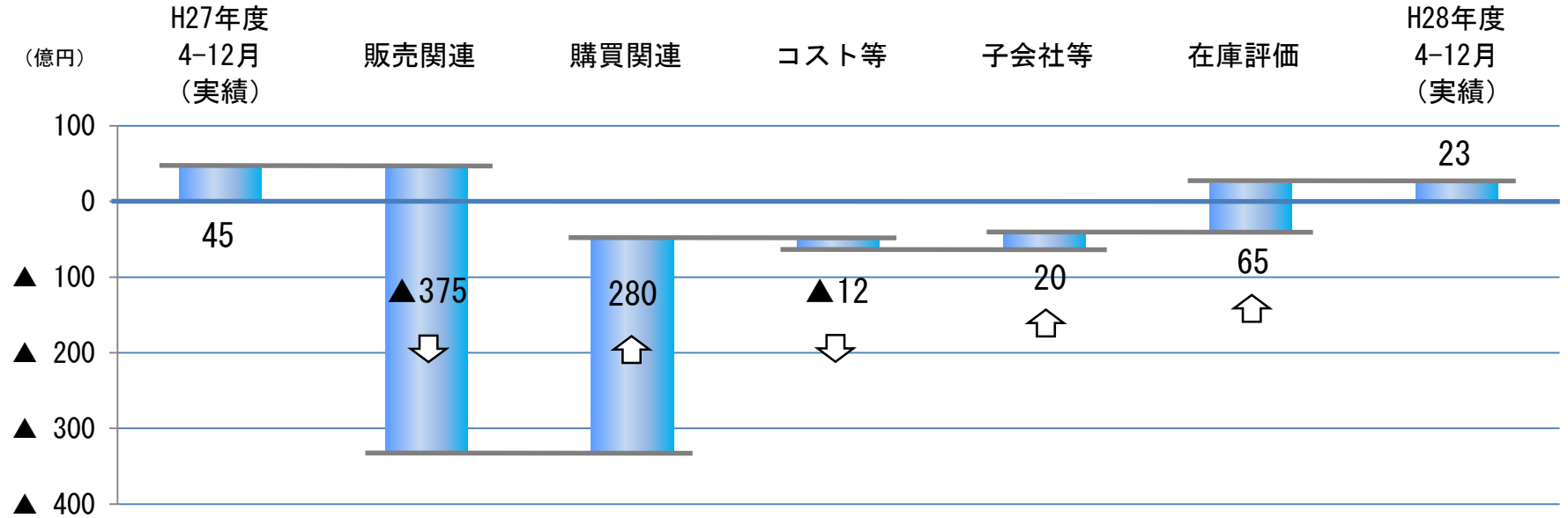
経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	27	43	70	13	83	165	▲ 82	▲ 30
	ステンレス	11	▲ 10	10	0	▲ 25	▲ 25	▲ 20	▲ 5	▲ 35
	計	12	17	53	70	▲ 12	58	145	▲ 87	▲ 65

平成28年度第3四半期諸元

		No	H28年度				H27年度 4-12月 (実績) f	差異		
			上期		(実績) c	下期 10-12月 (実績) d		(実績) e	① e-f	② d-b
			4-6月 (実績) a	7-9月 (実績) b						
粗鋼生産量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	1	68	79	147	76	223	236	▲ 13	▲ 3
	ステンレス	2	18	17	35	14	49	50	▲ 1	▲ 3
	計	3	86	96	182	90	272	286	▲ 14	▲ 6
販売数量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	4	70	79	149	76	225	225	0	▲ 3
	ステンレス	5	12	15	27	12	39	37	2	▲ 3
	計	6	82	94	176	88	264	262	2	▲ 6
鋼材平均単価 (千円/ト)		7	109	106	108	106	107	119	▲ 12	0
輸出比率 (金額ベース, %)		8	15	15	15	15	15	16	▲ 1	0
輸出為替レート (円/ドル)		9	108	102	105	109	106	122	▲ 16	7

経常利益差異内訳

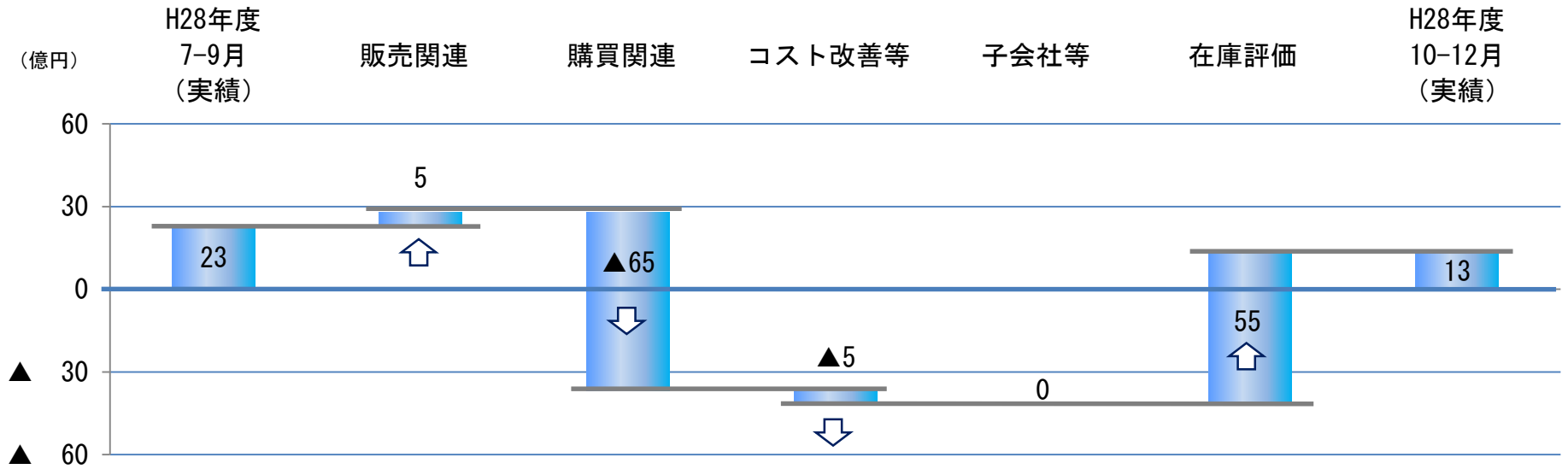
H27年度4-12月(実績):H28年度4-12月(実績)



H27年度4-12月 (実績)		45	変動要因	▲ 80
変動要因	販売関連	▲ 375	価格差▲300、数量構成差▲20、輸出為替差▲55	▲ 185
	購買関連	280	鉄鉱石 40、石炭▲10、ニッケル原料 75、ゴム 25、油類 30、輸入為替差 110	170
	コスト等	▲ 12		10
	子会社等	20		0
	在庫評価	65	▲100→▲35 (内ステンレス ▲60→▲30)	30
計		▲ 22		25
H28年度4-12月 (実績)		23		▲ 55

経常利益差異内訳

H28年度7-9月(実績):H28年度10-12月(実績)



H28年度7-9月(実績)		23	変動要因	▲10
変動要因	販売関連	5	価格差 20、数量構成差▲10、輸出為替差 5	▲10
	購買関連	▲65	鉄鉱石▲15、石炭▲30、ニッケル原料▲10、カム▲10	▲20
	コスト等	▲5		▲10
	子会社等	0		5
	在庫評価	55	▲30→25 (内ステンレス ▲20→5)	25
計		▲10		▲10
H28年度10-12月(実績)		13		▲20

(億円) (内ステンレス)

貸借対照表 (H28年12月末)

(億円)

		対H28/3末		主な内訳
現預金	206	▲	107	
売上債権	638	▲	137	売上減少
たな卸資産	1,317		69	
その他流動資産	208	▲	47	
有形・無形固定資産	2,837		49	
投資等	1,637	▲	61	持分会社に係る為替換算調整
資産合計	6,845	▲	235	
有利子負債	2,584	▲	210	
その他の負債	2,093	▲	13	
負債合計	4,677	▲	224	
資本金・資本剰余金	1,063		-	
利益剰余金	756	▲	25	配当▲27、当期純利益 2
自己株式	▲ 5	▲	0	
その他の包括利益累計額	229	▲	47	その他有価証券評価差額金 85、 為替換算調整勘定▲142
非支配株主持分	124		61	
純資産合計	2,168	▲	11	
負債・純資産合計	6,845	▲	235	

平成28年度業績予想

概況

- ✓ 国内経済は緩やかな回復基調が続くことが期待される一方、為替や株価の動向、保護主義的な動きの台頭に伴う通商問題の発生など、海外を中心に強まる不確実性が懸念される。
- ✓ 国内鋼材需要は東京五輪関連の基盤整備需要など底堅く推移することが見込まれる。
- ✓ 引続き24号中計で掲げた各施策完遂に向け取り組むも、原料炭をはじめとする原料価格の一層の上昇等により、経常利益は55億円（対11月公表▲20億円）を見込む。

平成28年度業績予想

(億円)

	No	H28年度		H27年度	差異		
		(予想) a	(前回予想) b	(実績) c	① a-b	② a-c	
売上高	1	5,120	5,160	5,470	▲ 40	▲ 350	
営業利益	2	85	110	100	▲ 25	▲ 15	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	95	95	172	0	▲ 77
	ステンレス	4	▲ 40	▲ 20	▲ 110	▲ 20	70
	計	5	55	75	62	▲ 20	▲ 7
親会社株主に帰属する当期純利益	6	10	30	▲ 66	▲ 20	76	

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	25	0	▲ 45	25	70
	ステンレス	8	▲ 25	▲ 30	▲ 90	5	65
	計	9	0	▲ 30	▲ 135	30	135

<実力ベース>

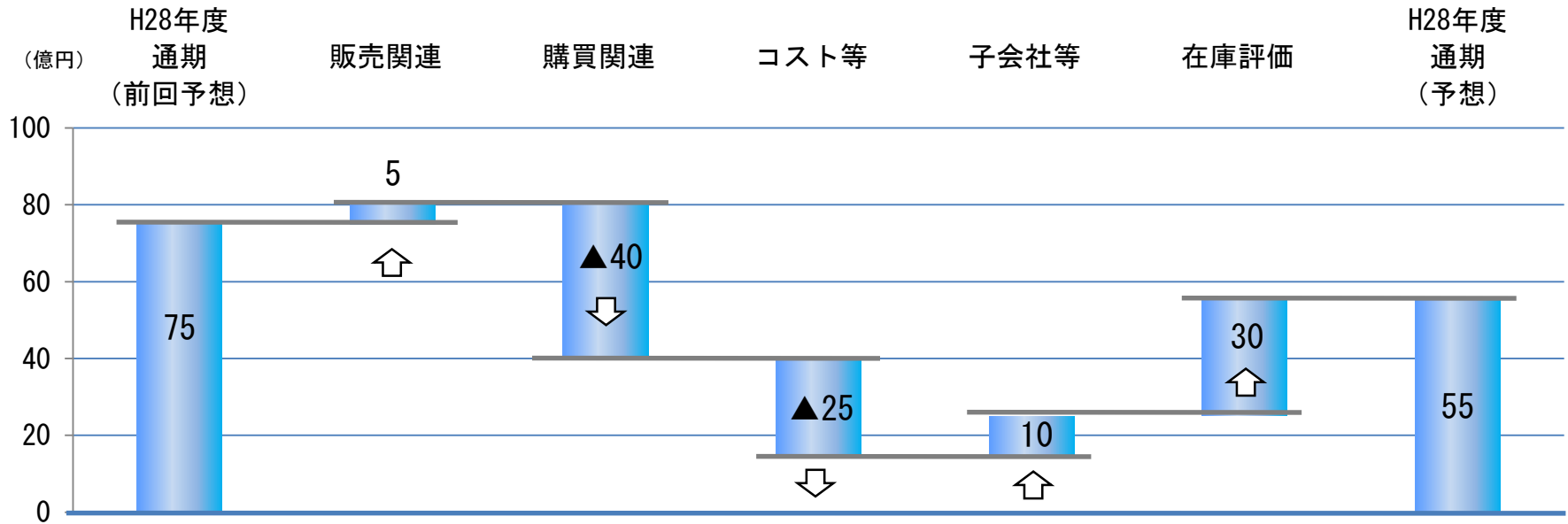
経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	70	95	217	▲ 25	▲ 147
	ステンレス	11	▲ 15	10	▲ 20	▲ 25	5
	計	12	55	105	197	▲ 50	▲ 142

平成28年度業績予想諸元

		No	H28年度		H27年度	差異	
			(予想) a	(前回予想) b	(実績) c	① a-b	② a-c
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	294	297	314	▲ 3	▲ 20
	ステンレス	2	66	69	65	▲ 3	1
	計	3	360	366	379	▲ 6	▲ 19
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	304	302	306	2	▲ 2
	ステンレス	5	53	56	52	▲ 3	1
	計	6	357	358	358	▲ 1	▲ 1
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	109	110	117	▲ 1	▲ 8
輸出比率 (金額ベース, %)		8	15	15	15	0	0
輸出為替レート (円/ドル)		9	107	105	120	2	▲ 13

経常利益差異内訳

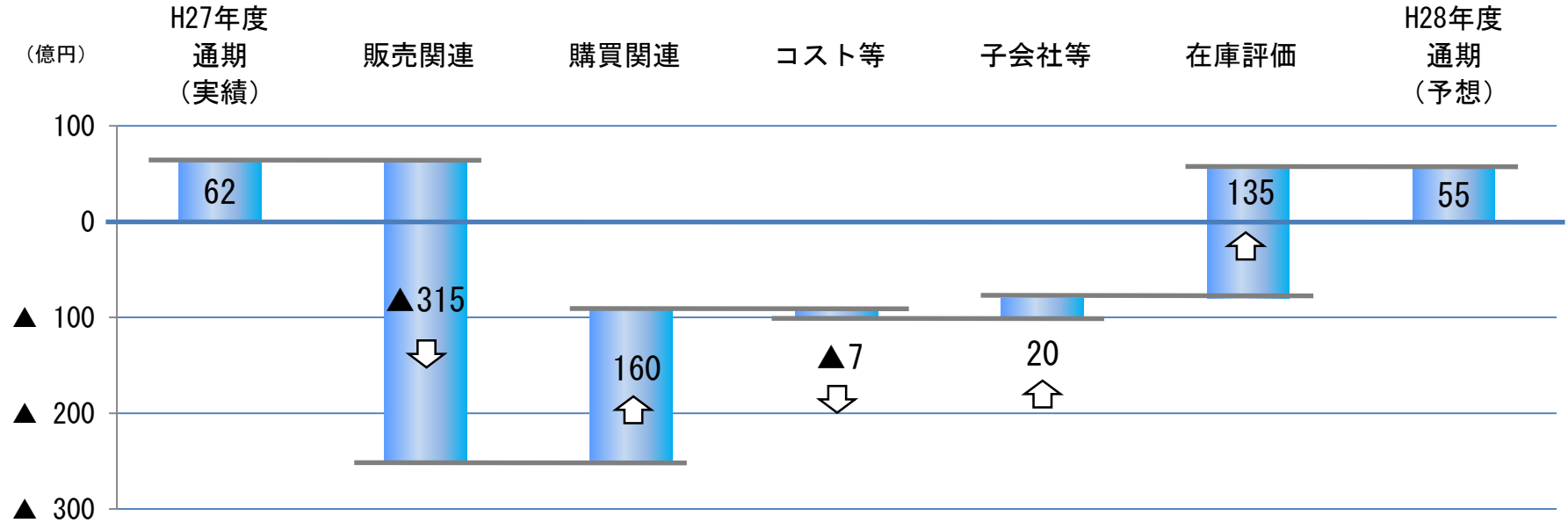
H28年度通期(前回予想):H28年度通期(予想)



		(億円)	(内ステンレス)
H28年度通期 (前回予想)		75	
変動要因	販売関連	5	▲ 20
	購買関連	▲ 40	▲ 5
	コスト等	▲ 25	▲ 15
	子会社等	10	▲ 10
	在庫評価	30	5
	計	▲ 20	▲ 20
H28年度通期 (予想)		55	▲ 40

経常利益差異内訳

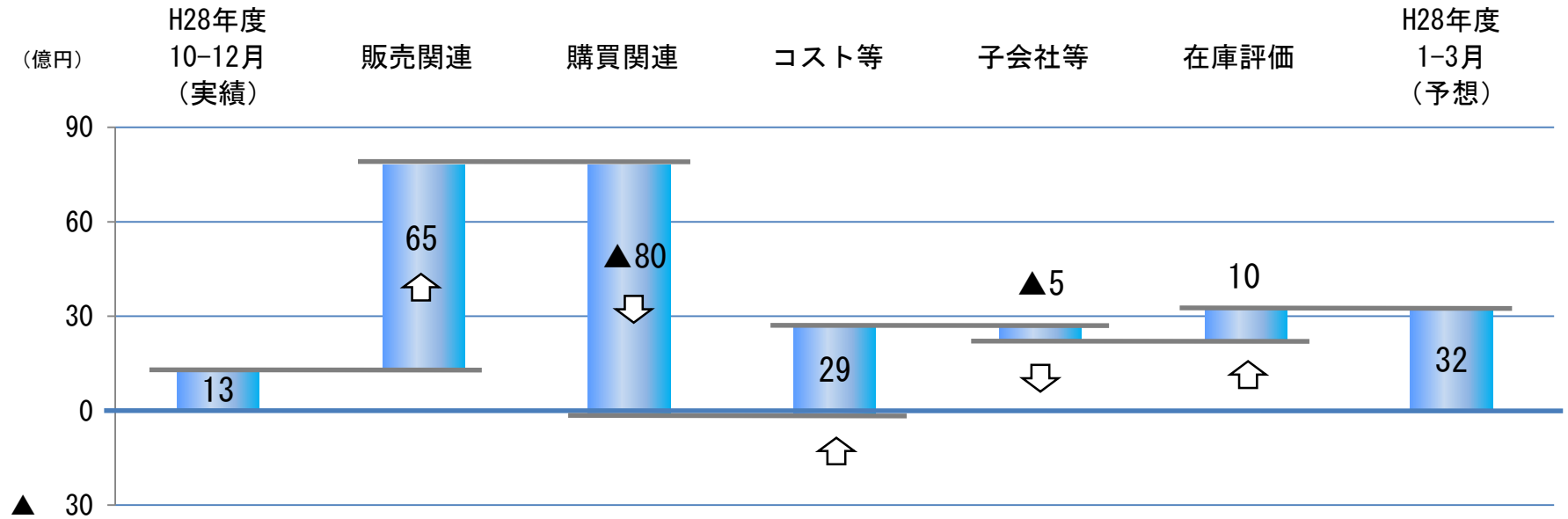
H27年度通期(実績):H28年度通期(予想)



		(億円)	(内ステンル)
H27年度通期(実績)		62	▲110
変動要因	販売関連	▲315	▲145
	購買関連	160	140
	コスト等	▲7	0
	子会社等	20	10
	在庫評価	135	65
計		▲7	70
H28年度通期(予想)		55	▲40

経常利益差異内訳

H28年度10-12月(実績):H28年度1-3月(予想)



H28年度10-12月(実績)		13	変動要因	▲ 20
変動要因	販売関連	65	価格差 40、数量構成差 25	35
	購買関連	▲ 80	石炭▲55、ニッケル原料▲5	▲ 15
	コスト等	29		15
	子会社等	▲ 5		0
	在庫評価	10	25→35 (内ステンレス 5→5)	0
計		19		35
H28年度1-3月(実績)		32		15

(億円) (内ステンレス)

剰余金の配当

当期末の配当については、現時点で未定。

配当予想額の開示が可能となり次第、速やかに開示。

【利益配分に関する基本方針】

連結業績に応じた適切な剰余金の配当を実施していくことを基本に、企業価値向上に向けた今後の事業展開に必要な内部留保の確保および今後の業績見通しを踏まえつつ、安定的な株主還元を実施

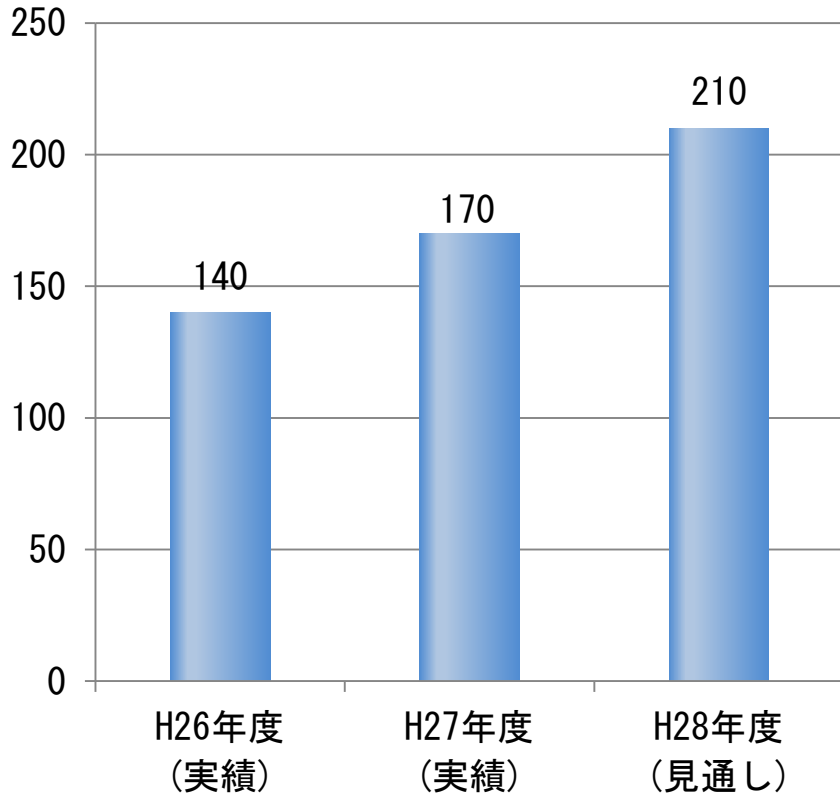
(ご参考)
主要データ



合理化・総コスト削減とシナジー効果

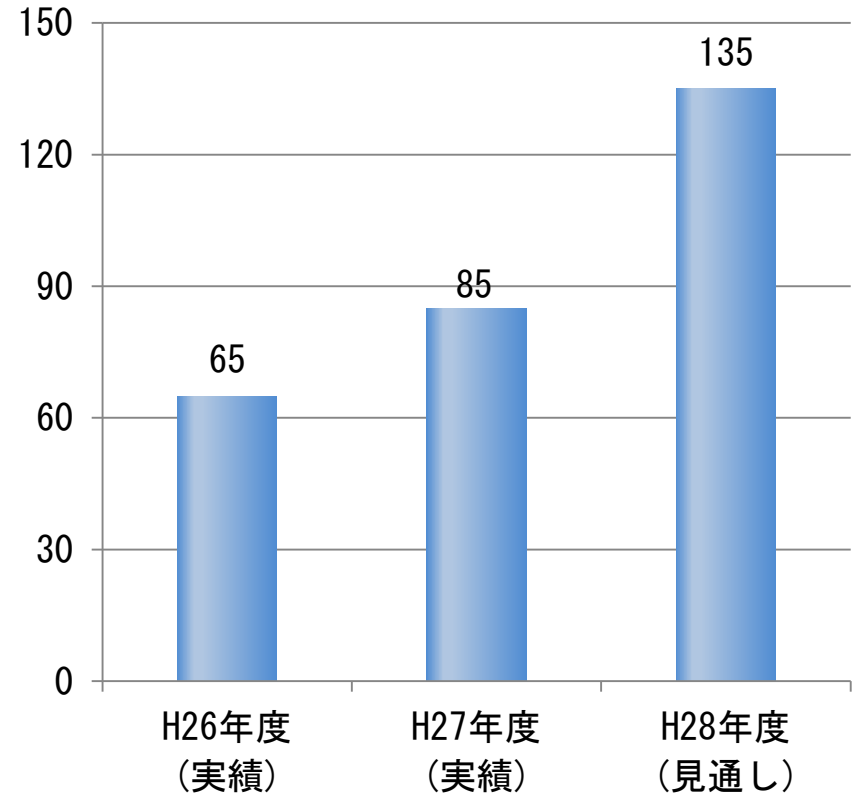
合理化・総コスト削減

(億円)



シナジー効果

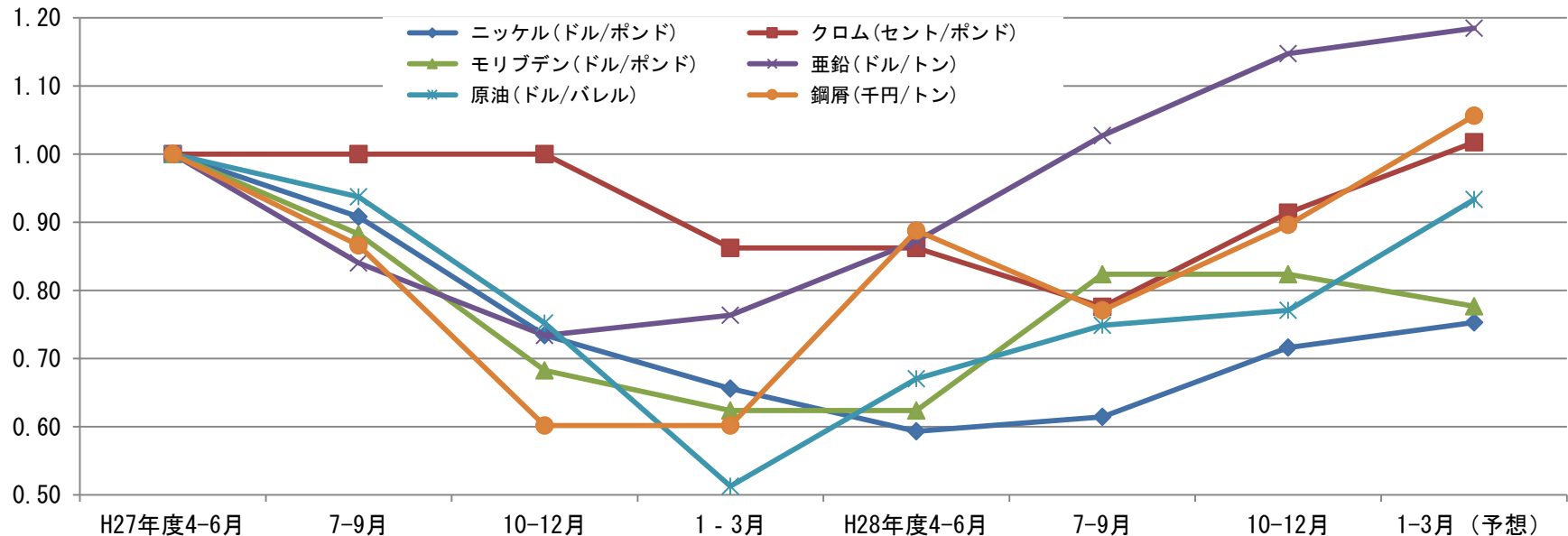
(億円)



購買市況(適用ベース)

	H27年度							H28年度						
	上期			下期			平均	上期			下期			平均(予想)
	4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月	平均		4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月(予想)	平均(予想)	
ニッケル(ドル/ポンド)	6.51	5.91	6.21	4.78	4.27	4.53	5.37	3.86	4.00	3.93	4.66	4.90	4.78	4.36
クロム(セント/ポンド)	116.0	116.0	116.0	116.0	100.0	108.0	112.0	100.0	90.0	95.0	106.0	118.0	112.0	103.5
モリブデン(ドル/ポンド)	8.5	7.5	8.0	5.8	5.3	5.6	6.8	5.3	7.0	6.2	7.0	6.6	6.8	6.5
亜鉛(ドル/トン)	2,195	1,844	2,020	1,611	1,676	1,644	1,832	1,915	2,254	2,085	2,518	2,600	2,559	2,322
原油(ドル/バレル)	58.9	55.2	57.1	44.3	30.2	37.3	47.2	39.5	44.1	41.8	45.4	55.0	50.2	46.0
鋼屑(千円/トン)	23.1	20.0	21.6	13.9	13.9	13.9	17.7	20.5	17.8	19.2	20.7	24.4	22.6	20.9

購買市況の推移 (H27年度4-6月を1.00)

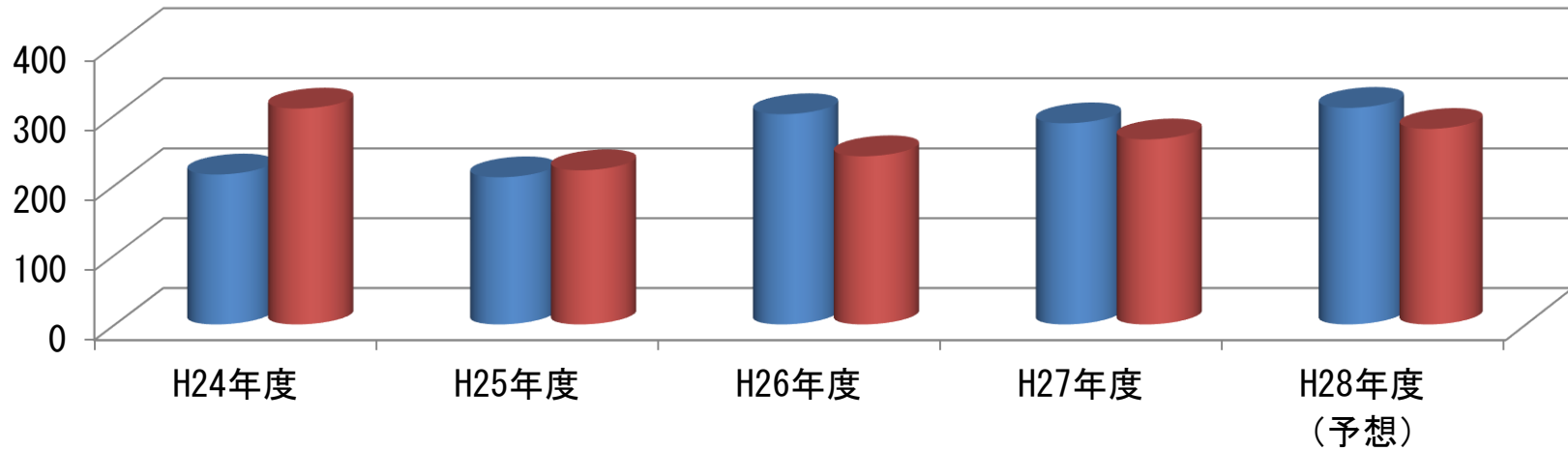


設備投資・減価償却費

(億円)

■ 設備投資（有形のみ／検収ベース）

■ 減価償却費

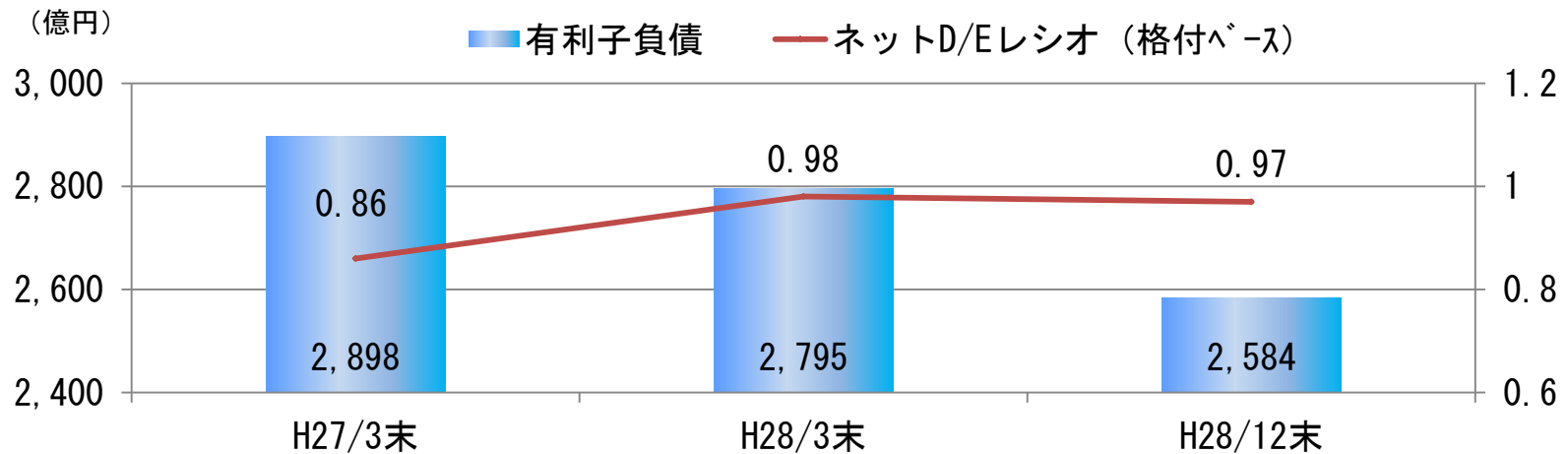


(億円)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度 (予想)
設備投資	215	211	301	288	310
減価償却費	309	221	241	265	280

※設備投資額は有形のみ／検収ベース

有利子負債・ネットD/Eレシオ（格付けベース）



	H27/3末	H28/3末	H28/12末
手許預金 (億円)	263	314	206
有利子負債 (億円)	2,898	2,795	2,584
ネットD/Eレシオ	1.00	1.17	1.16
〃 (格付けベース) ※	0.86	0.98	0.97

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッドローンについて、元本の50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ
 (H27/3末、H28/3末およびH28/12末について、400億円の50%をそれぞれ資本に算入)